

PORTERS HR-Business Cloud

Version 3.8 Release Note

メニューカスタマイズ性の向上

- リソースの名称を好きな名称へ変更できるようになりました。
 - [設定]->[カスタマイズ]->[メニュー]から、設定が行えます。



◇ 上記画面から、新しいメインメニューを追加できるようになりました。

- 新しいメインメニューには検索条件を設定できます。
- 検索条件には[選択肢型]のみ指定できます。



- 設定した検索条件は、[カスタマイズ]->[メニュー]画面以外から変更することができません。
 - つまり、上記で設定した[初期条件] AND [検索画面の検索条件]で検索されることになります。

◇ また、各言語(日本語/英語)に対応させることができるようになりました。

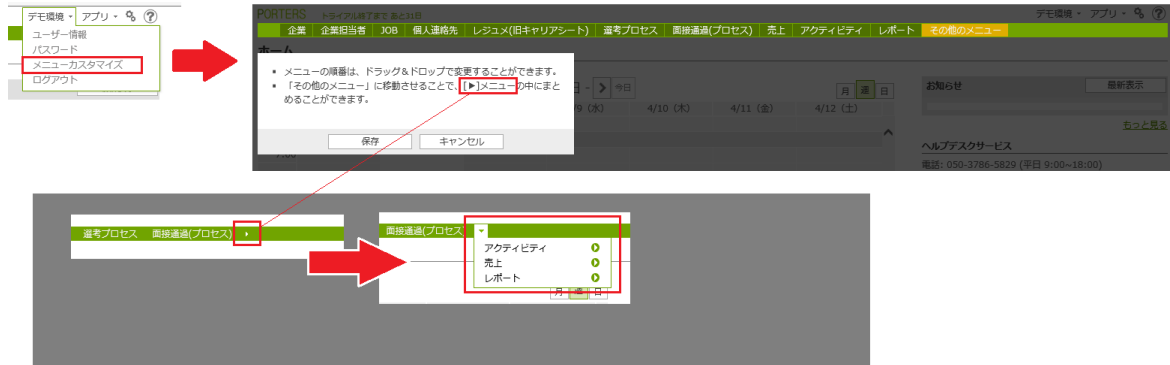
◇ 変更したリソースの名称は、各種画面に反映されるようになります。

- ただし、カスタマイズ詳細画面の項目には反映させることはできません。

- **ユーザーや端末(ブラウザ)ごとにメニューの並び順を変更できるようになりました。**

- [ユーザー名称(画面右上)]->[メニューカスタマイズ]から、設定が行えます。

- ◇ ドラッグ&ドロップでメニューの並び順の変更ができます。



- **[アプリケーション]メニューの表示位置を、メインメニューから移動させました。**

- [ユーザー名称(画面右上)]の右隣に表示させるようにしました。

- ◇ [アプリケーション]の表記から[アプリ]に変更しました(英語環境 : Apps)。



- **[アクションメニュー]をカスタマイズできるようになりました。**

- [設定]->[カスタマイズ]->[アクションメニュー]から、設定が行えます。

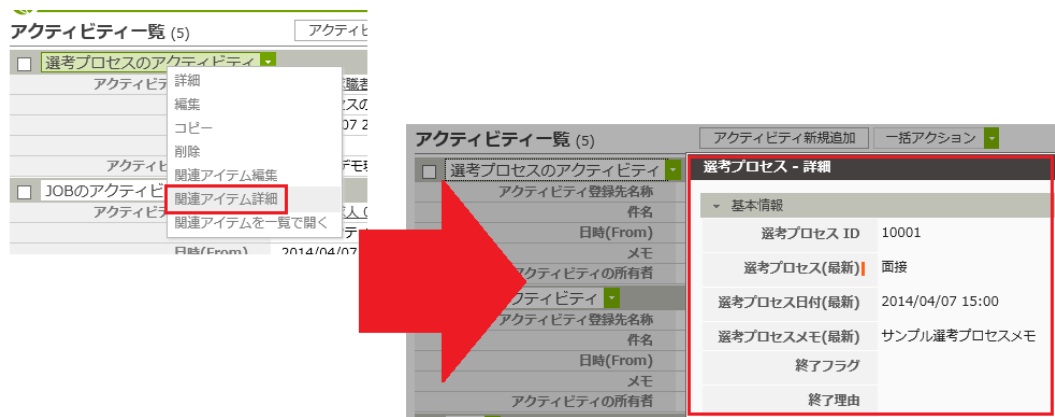


- ◇ 必要な[アクション]だけ、画面上に表示できるようになりました。

- 各リソースの[メニュー]を指定して、[アクション]の表示と非表示をマッピングすることができます。

- ◇ 関連するレコードのための[アクション]が追加されました。

- 関連するレコードの[詳細]・[編集]・[一覧で開く]が追加されました。



- たとえば、[レジюме]の[アクションメニュー]からは[個人連絡先詳細]・[個人連絡先編集]・[個人連絡先を一覧で開く]の[アクション]が追加されています。
- [アクティビティ]については、[関連アイテム詳細]・[関連アイテム編集]・[関連アイテムを一覧で開く]という表記になっています。
- それぞれの[メニュー]に追加された[アクション]の一覧表は、下記に通ります。

◇ 表の見方

- 縦軸が[メニュー]の種類、横軸が[アクション]の種類です。
- 「○」と「△」の付いている箇所が、今回追加された[アクション]です。
- 「△」のアクションは、[アクティビティ]に紐づいているリソースのレコードが表示されます。

	企業	企業担当者	JOB	個人連絡先	レジюме	選考プロセス	売上
企業							
契約	○						
企業担当者	○						
JOB	○	○					
個人連絡先							
レジюме				○			
選考プロセス	○	○	○	○	○		
売上	○		○		○		
アクティビティ	△	△	△	△	△	△	△

◇ アクション名称を好きな名称へ変更できるようになりました。

- また、各言語(日本語/英語)に対応させることができるようになりました。

◇ [カスタムアクション]の新規追加は[アクションメニュー]画面から行えるように変更しました。

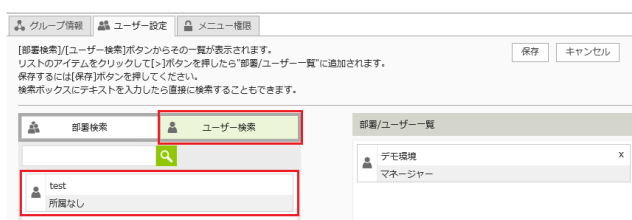
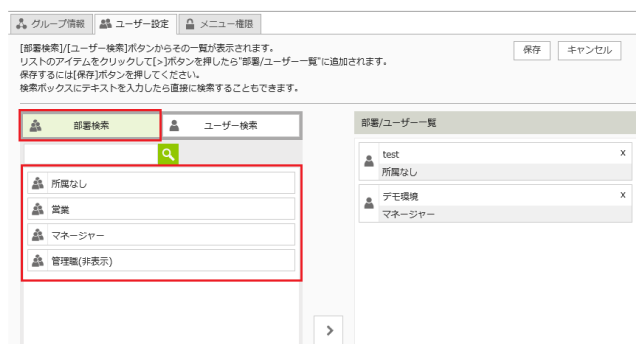
- 上記に伴い、[カスタムアクション]専用の設定画面を廃止しました。

アクセスコントロール機能の追加

- [アクション]に対して、アクセス制限を設けることができるようになりました。
 - [設定]->[セキュリティグループ]から、設定が行えます。
 - ◇ 初期の[セキュリティグループ]として、[Users]があらかじめ用意されています。
 - [Users]には、新しく追加した[ユーザー]が自動的に追加されていきます。
 - 新しい[セキュリティグループ]は[新規]ボタンから作成できます。
 - ◇ [グループ情報]画面では以下のことが行えます。
 - セキュリティグループの名称の変更することができます。
 - セキュリティグループの削除することができます。
 - ただし、[Users]を削除することはできません。



- ◇ [ユーザー設定]画面では、以下のことが行えます。
 - [ユーザー]と[ユーザー部署]をセキュリティグループへ追加することができます。
 - グループに追加されたユーザーや該当部署に所属するユーザーに対し、[メニュー権限]で設定している内容を反映させることができます。
 - [部署検索]では、[ユーザー部署]の名称で検索することができます。
 - [ユーザー検索]では、[ユーザー]または[ユーザー部署]の名称で検索することができます。



◇ [メニュー権限]画面では、以下のことが行えます。

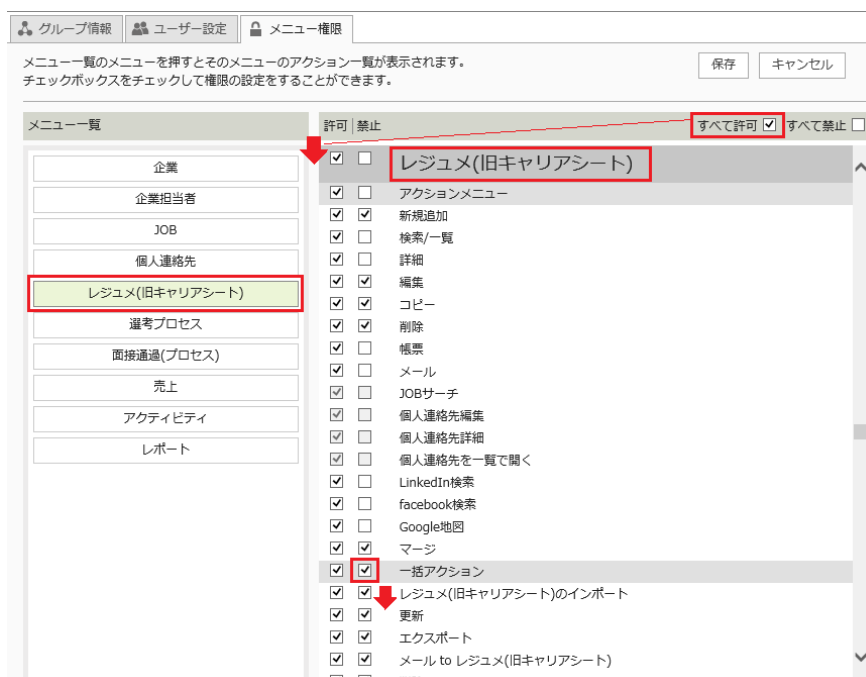
- 対象のセキュリティグループへのアクセス制限を設定することができます。
 - [許可]と[禁止]、それぞれのチェックボックスで設定することができ、1つのセキュリティグループ内での組み合わせによる結果は以下の通りです。

組み合わせ	[許可]	[禁止]	結果
No.1	チェック：ON	チェック：ON	禁止になる
No.2	チェック：OFF	チェック：ON	禁止になる
No.3	チェック：ON	チェック：OFF	許可になる
No.4	チェック：OFF	チェック：OFF	禁止になる

*2つのセキュリティグループに追加されているユーザーがいた場合、どちらかのグループの結果が[禁止になる]と、アクセスできなくなります。



- なお、[許可]と[禁止]のチェック状態を変更できないアクションは以下の通りです。
 - いずれかの[メニュー]に紐づいている、他のメニューの[アクション]
 - ◇ 上記に該当するアクションは、[企業]の[サブリスト 企業担当者]など。
 - ただし、[カスタムアクション]は個別に設定することができます。
 - [アクティビティ]の[関連アイテム詳細]・[関連アイテム編集]・[関連アイテムを一覧で開く]
 - ◇ これらについては、[アクティビティ]に登録されている各リソースごとの[詳細]・[編集]・[検索/一覧]で設定を行ってください。



- 本機能追加に伴い、[標準ユーザー]は自身の[ユーザー部署(部署名)]を変更できなくなりました。
- ◇ [システム管理者]であれば、変更することができます。

ユーザー - 編集

基本情報

氏名	test	部署名	所属なし
電話		携帯	
メール	1kengo.nishiuchi@porters.jp	携帯メール	
ユーザーネーム	test	承認者フラグ	<input type="checkbox"/>
言語のデフォルト値	日本語	タイムゾーン	(GMT+09:00) 日本標準時 (Asia/Tokyo)
利用開始日	2014/04/07	利用終了日	
ユーザータイプ	標準ユーザー	データ登録者	所属なし test
データ登録日	2014/04/07 20:54:02	データ更新者	所属なし test
データ更新日	2014/04/07 22:37:51	メールマガジンを受信する	<input checked="" type="checkbox"/>
		重要なお知らせやメンテナンス情報を受信する	<input checked="" type="checkbox"/>

保存 キャンセル

- [カスタマイズ項目]に対して、個別に編集制限を設けることができるようになりました。

- [設定]->[カスタマイズ]->[画面]から、設定が行えます。
- ◇ [カスタマイズ項目]の新規および編集時のダイアログ内に[編集権限]項目を追加しました。
 - [Read Only(編集不可)]のチェックボックスを ON にすることにより、該当項目の編集が行えなくなります。
 - 編集不可の場合の挙動は以下の通りです。
 - ◇ [セキュリティグループ(権限グループ)]を設定することで、該当グループに所属するユーザーのみ、項目の編集ができるようになります。
 - ◇ 初期値が設定されていれば新規作成時に反映されます。
 - ◇ 初期値が設定されていない項目が[必須]になっていると、レコードの保存はできません。
 - [編集権限]の設定に関わらず、編集(更新)可能になるアクションや項目は以下の通りです。
 - 一括アクション
 - ◇ [インポート]、[一括更新]、[マッチング]->[一括作成(選考プロセス追加)]
 - サブリスト->フェーズ履歴(プロセス履歴)
 - ◇ [フェーズ]、[フェーズ日付]、[フェーズメモ]

エイリアス Resume.P_Phase

編集権限 Read Only(編集不可)

以下の権限グループユーザーに編集を許可する

Users

Users

選択されている

セキュリティグループ

編集権限 Read Only(編集不可)

以下の権限グループユーザーに編集を許可する

セキュリティグループ

フェーズ(最新) Open

フェーズ日付(最新) 2014/04/01 09:00

フェーズメモ(最新) セキュリティグループに所属していないユーザーの場合

- その他の実装
 - Public API で画像型(File Type)が扱えるようになりました。
 - Public API でフェーズが扱えるようになりました。